

農 業

| | | | |
|-------|-------|-----|------|
| 科 目 名 | 単 位 数 | 学 年 | 学 科 |
| 農業と環境 | 3単位 | 1年 | 農・普科 |

| | | | |
|-----|-------------|-----|--------|
| 教科書 | 農業と環境（実教出版） | 副教材 | 自作プリント |
|-----|-------------|-----|--------|

| | |
|-------|--|
| 科目の目標 | <p>高校に入学し、初めて学ぶ農業科目「農業と環境」。この教科は、農業の基礎的な知識と技術を習得する。地域の特性を生かし、三間分校では、バケツイネ栽培をはじめ、農産物の栽培を行い、生育の成長や変化を学ぶとともに、農業及び環境に関する学習についての興味・関心を高める。3学期末には、科学的思考力と課題解決能力が育成できることを目指す。</p> |
|-------|--|

☆ 年間指導計画と学習のポイント ☆

| | 学 習 項 目 | 単元の評価の観点 | |
|------|--|---|---|
| | | ①知識・技能 | ②思考・判断・表現 |
| 1 学期 | <ul style="list-style-type: none"> ○農業と環境を学ぶ ○栽培と飼育の基礎 ○学校農業クラブ活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校農業クラブ活動について学習し、FFJの歴史、農業高校の意義や取組を理解している。 ・実習では、イネの栽培について、たねまきから収穫までの実習を行い、栽培に関する技能を身に付けている。 ・生育状況の観察と調査、周辺の環境計測などを行い、作物栽培について理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・三間小学校との交流会や地域との連携を行い、交流活動の大切さを理解している。 ・イネの収穫適期と収量調査など、地域の特性に応じた農業を学ぼうとしている。 ・地域の方々や小学生との交流学习を通してグリーン・ツーリズムについての実習を行い、農業の魅力を発信しようとしている。 |
| 2 学期 | ○栽培と環境のプロジェクト | | |
| 3 学期 | ○私たちの暮らしと農業・農村 | | |

1 高校に入学して初めて学ぶ教科です。日常生活に直結する農業に対して様々な疑問を持ってみましょう。

2 授業だけでなく、実習を通して、様々な疑問を持ち、解決できるようになりましょう。

3 プロジェクト活動を通して、積極的に農業クラブ活動に取組みましょう。

| 番号 | 評価の観点 | 評価規準 |
|---------|--|--|
| ① | 知識・技能 | 基礎的な知識を身に付け、生育環境や育成の過程を理解している。自然環境と地域環境について理解している。 |
| ② | 思考・判断・表現 | 課題を多面的に考察し、適切に判断している。 |
| ③ | 主体的に学習に取り組む態度 | 農業に関する基礎的な技術を身に付けている。 |
| 定期 考 査 | 1 学期中間・期末 2 学期中間・期末 学年末（計5回） | |
| 評 価 方 法 | 以下を総合的に評価する。 ①知識・技能（実習態度、定期考査、ファイル、実習記録簿の提出） ②思考・判断・表現（実習態度、定期考査、レポートの提出） ③主体的に学習に取り組む態度（実習記録簿、農業クラブ活動、グループワーク） | |